

「個と組織の適合」を目指す 開発的キャリアカウンセリング



「開発的キャリアカウンセリング」とは、積極的に個人の自律的なキャリア形成を促進し、「個と組織の適合」（自己充足と組織貢献の両立状態）を目指すカウンセリングです。上司-部下間でのキャリア面談（lonl）やセルフ・キャリアドックにおける面談など、主訴がない面談において有効です。

本講座では、講師 高橋浩と日本能率協会マネジメントセンター（JMAM）が共同で開発中の支援フレームワーク（適合状態へ向かう7つの発達段階とアセスメント方法、課題達成の支援方法など）について、ワークをまじえて学んでいきます。

日 時	3月16日（日）10時～17時
開催方式	オンライン（Zoom利用）
講 師	高橋 浩（ユースキャリア研究所 代表）
定 員	20名程度。4～5名のグループワークあります。 キャリアコンサルタントの実務経験がある人が望ましい
参加費	一般13,000円（税込）、JCC会員 11,000円（税込）
申込方法	Peatixサイト（ https://jcc24nk4.peatix.com ） または、JCCのホームページ（ https://npo-jcc.org/ ）からお申込みください。

【講座の概要】

現在、多くの企業で社員のキャリア自律が求められています。しかし、それを支援するための面談技術は十分に普及していません。その理由は、キャリアコンサルタント養成講座では、キャリア自律の促進ではなく、主にキャリアの悩みを解決するスキルが重視されているためです。例えば、lonlやセルフ・キャリアドックの面談では、悩みのない状態で相談に来る社員は少なくありません。こうしたケースに対応するため、講師が実践経験をもとに考案した「キャリア適合理論（仮）」に基づく開発的キャリアカウンセリングが有効です。

この理論では、「個と組織の適合」を7つの段階に分け、来談者がどの発達段階にいるのかをアセスメントし、各段階に応じた発達課題の達成を支援します。

このアプローチにより、悩みを持たない来談者に対しても適切な対応が可能となります。最終的には、「個と組織の適合」を実現し、来談者自身が発達課題を乗り越えられるよう支援します。

社員のキャリア自律を促進したい企業にとって、非常に有益な手法です。

【講座内容】

- 開発的キャリアカウンセリングとは
- キャリア適合理論（仮）の基本概念
- 4つのアセスメントと3つの支援
 - 「ととのえる」、ふかめる」、かなえる」
- 7つの発達課題の特定と各支援方法

【講師紹介】

高橋浩(たかはし・ひろし)

ユースキャリア研究所代表

特定非営利活動法人日本キャリア開発協会理事

日本キャリア・カウンセリング学会 元研究委員長

法政大学大学院/目白大学大学院/立正大学講師

博士(心理学)・キャリアコンサルタント・公認心理師

1987年、NECグループの半導体設計会社に入社。設計エンジニア、品質管理、経営企画、キャリアアドバイザーに従事し、2011年退職。2012年3月博士号取得、5月ユースキャリア研究所を設立。現在は、大学講師、行政や大手企業でのキャリアカウンセリング、キャリア開発研修講師などを務め、キャリア支援に関する調査研究も行っている。

主な著書は、『セルフ・キャリアドック入門』（共著・金子書房）、『実践コミュニティアプローチ』（編著・金子書房）、『実践家のためのナラティブ/社会構成主義キャリア・カウンセリング』（共著・福村出版）など。

お問合せ先: JCC事務局: info@npo-jcc.org 電話: 03-6806-0693

ホームページ: <https://npo-jcc.org/>

講座責任者: 小澤 : yozawa@key.ocn.ne.jp